

令和2年度 上武大学 大学院経営管理研究科 シラバス

講義番号	授業科目名		租税法特論A		担当教員	田地野 幹雄		
	英語授業科目名	Tax Law A			単 位	2	学 期	前期
対象年次	1・2年次	クラス指定			他との関連			
履修条件	なし							
テーマ・副題	租税と戦略							
授業の教育目的・目標	租税と租税法に関する基礎理論並びに税法の読み方と判例の見方を修得させる。							
授業の理解度の到達目標	租税と租税法および判例に関する基礎的な知識・読解力を修得すること							
授業キーワード	租税正義 (Justice in Tax Law)							
授業の内容	租税法の意義・特質・基本原則等の一般的事項および税法・判例の読み方について講義する。							
授業の方法	基本的にテキストに従って講義を行うが、受講者の関心と理解が一層深まるよう、ディスカッション等を通じてできるかぎりインタラクティブな講義内容としたい。							
授業展開	1. 租税の意義 2. 租税法の意義と特質 3. 租税法の基本原則(1) 4. 租税法の基本原則(2) 5. 租税法の法源と効力 6. 租税法の解釈と適用(1) 7. 租税法の解釈と適用(2) 8. 税法の構成				9. 税法の読み方(1) 10. 税法の読み方(2) 11. 税法の読み方(3) 12. 判例の見方(1) 13. 判例の見方(2) 14. 判例の見方(3) 15. まとめと演習			
成績評価方法	課題の発表内容(60%)および授業への取り組み姿勢(40%)を評価要素とする。							
成績評価基準	総合点が80点以上をA、79～70点をB、69～60点をC、59点以下をDとする。							
テキスト	① 金子宏『租税法(最新版)』(弘文堂) ② 伊藤義一『税法の読み方 判例の見方(改訂第三版)』(TKC出版、2014)							
参考図書	適宜授業中に指示する。							
準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容	テキストの予習(120分)および必要に応じて参考文献の事前学習							
学生へのメッセージ	租税法を機能させているOS: Operating Systemは「租税正義」です。租税法の学習に当たっては、その「租税正義」とは何かを常に問い続ける姿勢をもって取り組んでください。また、租税を対象とする学問が、法律学にとどまらない、さまざまな分野にまたがる学際的学問であることを認識してください。							
オフィスアワー	授業前後の時間							
連絡先	電話番号	0274-42-2828 (内線5514)			メールアドレス:	tajino@sc.jobu.ac.jp		
人数制限	なし							